

平成 16 年 11 月 11 日

各 位

会 社 名 ダイニック株式会社
代表者名 取締役社長 細田 敏夫
(コード番号 3551 東証第 1 部)
問合せ先 本社財務部長 天野 高明
(TEL . 03 - 5402 - 3132)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 16 年 5 月 25 日の決算発表時に公表した平成 17 年 3 月期 (平成 16 年 4 月 1 日 ~ 平成 17 年 3 月 31 日) の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

- 1 . 平成 17 年 3 月期中間業績予想数値の修正 (平成 16 年 4 月 1 日 ~ 平成 16 年 9 月 30 日)
(単位 : 百万円、%)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A) (平成 16 年 5 月 25 日発表)	1 6 , 0 0 0	6 0 0	4 0 0
今 回 修 正 予 想 (B)	1 6 , 2 0 0	8 0 0	4 9 0
増 減 額 (B - A)	2 0 0	2 0 0	9 0
増 減 率 (%)	1 . 2	3 3 . 3	2 2 . 5
(ご参考) 前期実績 (平成 15 年 9 月期)	1 4 , 4 7 2	1 1 7	5 1 5

- 2 . 平成 17 年 3 月期中間連結業績予想数値の修正 (平成 16 年 4 月 1 日 ~ 平成 16 年 9 月 30 日)
(単位 : 百万円、%)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A) (平成 16 年 5 月 25 日発表)	2 2 , 0 0 0	7 0 0	4 5 0
今 回 修 正 予 想 (B)	2 2 , 0 0 0	1 , 0 0 0	6 0 0
増 減 額 (B - A)		3 0 0	1 5 0
増 減 率 (%)		4 2 . 9	3 3 . 3
(ご参考) 前期実績 (平成 15 年 9 月期)	2 2 , 9 3 5	2 4 9	1 , 0 4 9

3. 平成17年3月期通期業績予想数値の修正(平成16年4月1日～平成17年3月31日)
(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成16年5月25日発表)	32,000	1,300	850
今回修正予想(B)	32,500	1,600	1,000
増減額(B-A)	500	300	150
増減率(%)	1.6	23.1	17.6
(ご参考) 前期実績(平成16年3月期)	30,968	968	818

4. 平成17年3月期連結業績予想数値の修正(平成16年4月1日～平成17年3月31日)
(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成16年5月25日発表)	44,000	1,500	1,000
今回修正予想(B)	44,500	2,000	1,200
増減額(B-A)	500	500	200
増減率(%)	1.1	33.3	20.0
(ご参考) 前期実績(平成16年3月期)	45,186	1,018	1,290

5. 当中間期業績予想および通期業績予想修正の理由

個別業績

中間期につきましては、不採算品の収益力改善に全社あげて取り組み、コストダウンを徹底的に進め、製造原価の引き下げ更に一般管理費の圧縮も強化した結果、多大な成果が得られました。その結果、経常利益は期初予想を200百万円(33.3%)、当期純利益は期初予想を90百万円(22.5%)上回る見通しであります。

通期につきましては、原油高の影響によるコストアップも懸念されますが、引続き更なるコストダウン、活動を強力に推進します。その結果、経常利益、当期純利益とも期初の予想を上まわる見通しであります。

連結業績

中間期につきましては、個別業績の上方修正に加え連結子会社も当初計画を上回る業績となりました。又、前期に有利子負債を大幅削減した効果により支払利息も減少いたしました。その結果、経常

利益は期初予想を300百万円(42.9%)、当期純利益は期初予想を150百万円(33.3%)
上回る見通しであります。

通期につきましては、個別業績と同様に連結子会社も世界的な原油高、金利の動向及び為替変動による影響が懸念されますが、更なる製造コストの引き下げや管理費の圧縮に努めてまいります。個別業績の上方修正と連結子会社の収益改善見込みにより経常利益、当期純利益とも期初の予測を上回る見通しであります。

以 上